

市町村名		南城市					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	尚巴志関連展開調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 - 1 - (1)	
事業内容	観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,460	6,615	-		
		(b)予算現額	5,460	6,615	-		
		(c)増減額(b-a)	0	0	-		
		(d)繰越額	-	-	6,615		
		A.計(b+d)	5,460	6,615	6,615		
	B.執行済額		5,460	0	6,615		
	うち交付金充当額		4,368	0	5,292		
	次年度繰越額		-	6,615	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また、策定委員会の意見反映のためスケジュール見直しが必要となり成果品の完成に不測の時間を要したため次年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定	目標	可能性調査を踏まえた基本プランの策定	()	()	()	()
		実績	可能性調査を踏まえた基本プランの策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	マスタープラン策定に向けて、市民ワークショップ(2回)や市役所職員で構成するクロスファンクション会議(4回)、検討委員会(3回)を開催するとともに、市民円卓会議・市民シンポジウムを実施することで、より多くの市民の意見を集約し、「尚巴志活用マスタープラン」を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定	目標	()	可能性調査を踏まえた基本プランの策定	()	()	()
		実績		可能性調査を踏まえた基本プランの策定			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	H24・H25年度に「尚巴志」を活用した観光客誘客を促進する事業として「尚巴志活用マスタープラン」を策定した。今後は計画の実施に向けて具体的な企画立案や体制を整えていく必要がある。また、マスタープランの策定を通して、多くの学識者や役所職員、市民を関わらせることができた。今後計画を実施していく上で関わった人々を巻き込みながら、共に目的達成に向けて行動していきたい。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>南城市の偉人であり、琉球王朝を創立した尚巴志という人物については、未だにその人物像などがひろく知られていないという現状から、海外へと発信する琉球王国を築き上げた人物像を含め、その行動力について、市民をはじめ、多くの方へと理解してもらい、活用していくためのアクションプランの必要性から本事業を実施することとなった。</p> <p>本事情では、マスタープラン策定に向けた検討委員会において、新たな市民参画の提案を受け、さらなる多くの市民の意見集約のための事業(市民ワークショップ)を実施したため、事業を当初期間内で終了することができなかった。</p>	<p>多くの市民の意見集約のための事業実施(市民ワークショップ)が遅れたことで繰越事業となったが、今後、策定したマスタープランに基づく事業実施にあたっては進捗を早期に展開し、より効果的で効率的な行程で事業を実施していく。</p>

今後の取り組み方針

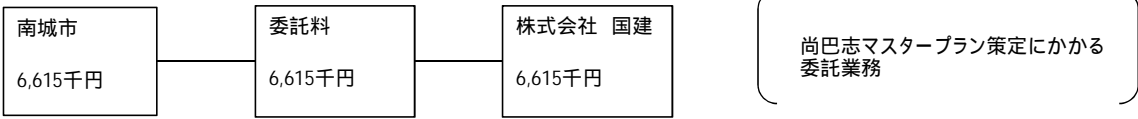
尚巴志活用マスタープランにおける3つの柱

- ・「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 (尚巴志まちづくりコンサート&シンポジウム・尚巴志紙芝居学校アウトリーチ等)
- ・地域興しの人材育成 (尚巴志語り部育成事業等)
- ・エコ・ミュージアムの創造 (グスクめぐりコンサート等)

に基づき、事業を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,615	6,615	5,292	1,323	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託の業者選定は前年度プロポーザルを実施し、資源調査や類似事例調査、市民意見の吸い上げ等の継続が必要で開発過程を通じ同一でなければプラン策定に著しい障害を生じることから随意契約しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については100%の執行率であり、適正規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。
------	--

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	85,063	-			
	(b)予算現額	85,063	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	81,463			
	A.計(b+d)	85,063	81,463			
	B.執行済額	3,600	81,351			
	うち交付金充当額	2,880	65,080			
	次年度繰越額	81,463	-			
	執行率(%) (B/A)	4.2%	99.9%			
予算の状況の説明	建設場所について、指定管理を予定している地元自治会との調整に不測の日数を要した為、実施設計及び建設工事費等を平成26年度へ繰り越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		観光交流拠点施設の実施設計及び整備工事	目標	(実施設計及び整備工事)	()	()
	実績	実施設計及び整備工事				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	平成25年度から平成26年度にかけて実施設計を実施し、整備工事は平成26年度に実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		観光交流拠点施設の実施設計及び整備工事	目標	()	(1棟)	()	()
			実績		1棟		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	平成27年3月に整備工事が完了し、平成27年4月に供用開始された。今後、観光客との交流事業や伝統芸能継承、災害時の一時避難場所として施設を活用する。						

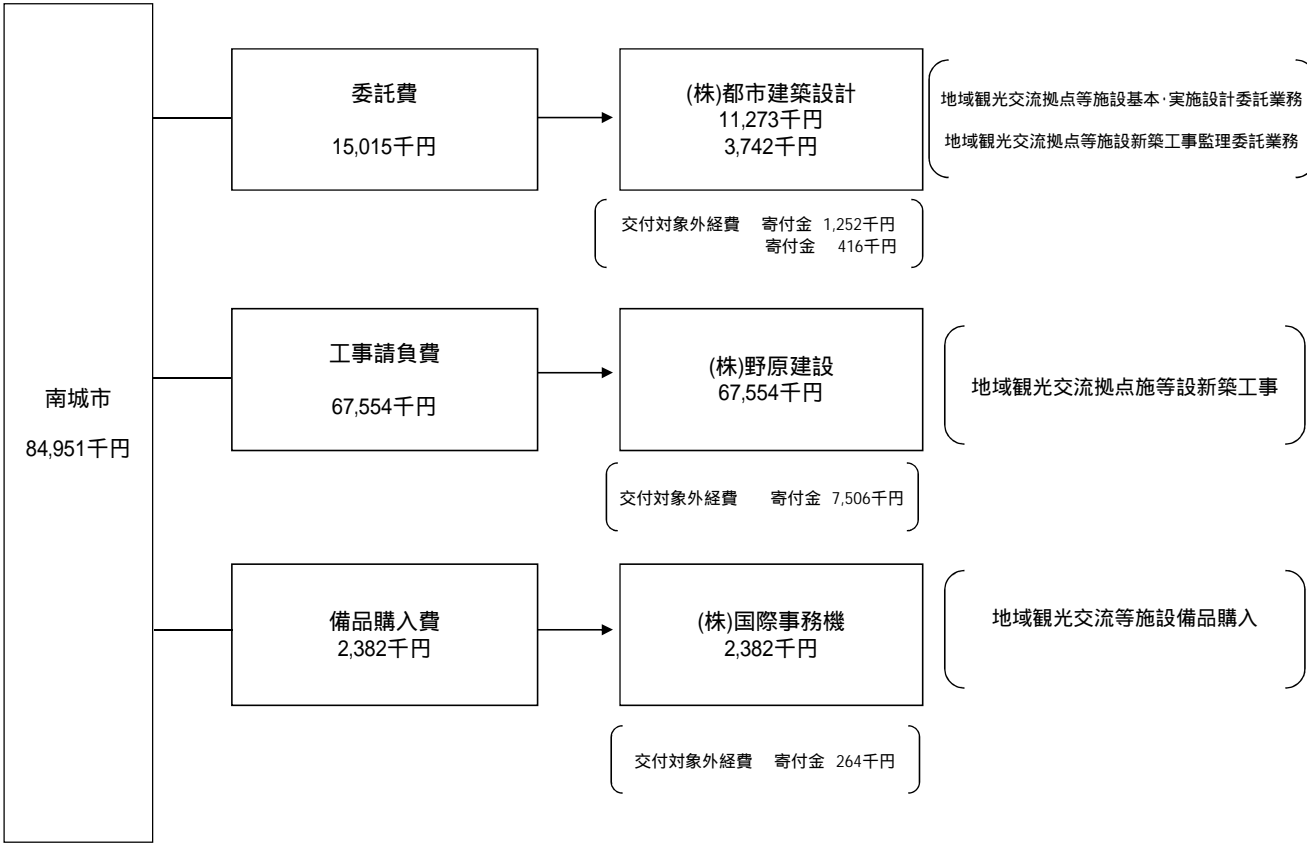
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市では住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行った。</p> <p>建設場所について、指定管理を予定している地元自治会との調整に不測の日数を要した為、実施設計及び建設工事費等を平成26年度へ繰り越した。</p> <p>施設の完成により、観光客等の受入が可能となったことから今後の活用に向け、誘客事業に力を入れる必要がある。</p>	<p>当初計画より事業期間が大幅に送ってしまったが、今後の事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、事業期間の延長がないような計画で行いたい。</p> <p>施設の利用に関しては、観光協会等と連携する事により、誘客が期待できる。具体的には、観光協会と指定管理を受ける地元自治会との関係を強化していく取組が重要で、前者を入口として他人を引き付けるさまざまなソフト開発を進める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今回、施設整備をした安座真区には、この地域でしか見ることができない個性的な伝統行事や民俗芸能がある。これらを観光客に見せたり、体験させたりする事を軸としたツーリズムを構築し、沖縄におけるリゾート観光客に対して本質的価値を享受する機会を創出する。一方で、包括的連携協定を結んだ沖縄県立芸術大学と共に歴史ある安座真区のストーリーを現在軸に置き換えた新たな魅力づくりをめざす。防災面では、地域ぐるみで防災計画を作成するなど、地域住民がムラヤーを核として主体的に取り組める環境を整えていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
94,389	84,951	67,960	16,991	9,438



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 予算規模については不用額は112千円であり、適正な規模であったと考えている。 費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 -	奥武島体験交流施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	農林水産部	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度
			沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
 漁業が盛んな玉城奥武島に体験交流施設及び農水産物直売店を整備し、島の豊かな自然を活かした体験プログラムを実施し、観光客等の誘客促進及び島の活性化を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	146,560	-		
		(b)予算現額	177,519	-		
		(c)増減額(b-a)	30,959	-		
		(d)繰越額	-	115,549		
		A.計(b+d)	177,519	115,549		
		B.執行済額	61,970	115,504		
		うち交付金充当額	49,576	92,403		
		次年度繰越額	115,549	-		
		執行率(%) (B/A)	34.9%	100.0%		
		予算の状況の説明	実施設計に伴うボーリング調査の結果、基礎杭工の追加が生じ設計変更に時間を要した。そのために工事発注が遅れ、H25年度中の完成が困難となったため、H26年度に繰り越した。予算の増額については、ボーリング調査の結果、軟弱地盤であり、基礎杭工法の変更と工法変更に伴う磁気探査業務の増額のため12月補正で20,438千円増額した。また、設計の結果、アスファルト舗装・金属製建具工事(シャッター)の費用が必要になったため3月補正で10,521千円増額した。			

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		25年度	26年度	27年度	28年度	
土質調査、実施設計、外構工事、建築工事、機械工事、電気工事の実施	目標	土質調査、実施設計、外構工事、建築工事、機械工事、電気工事の実施	()	()	()	()
	実績	土質調査、実施設計、外構工事、建築工事、機械工事、電気工事の実施				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	平成25年度に土質調査、実施設計、磁気探査を終えた。繰越の上、26年度に外構工事、建築工事、機械工事、電気工事を実施した。					

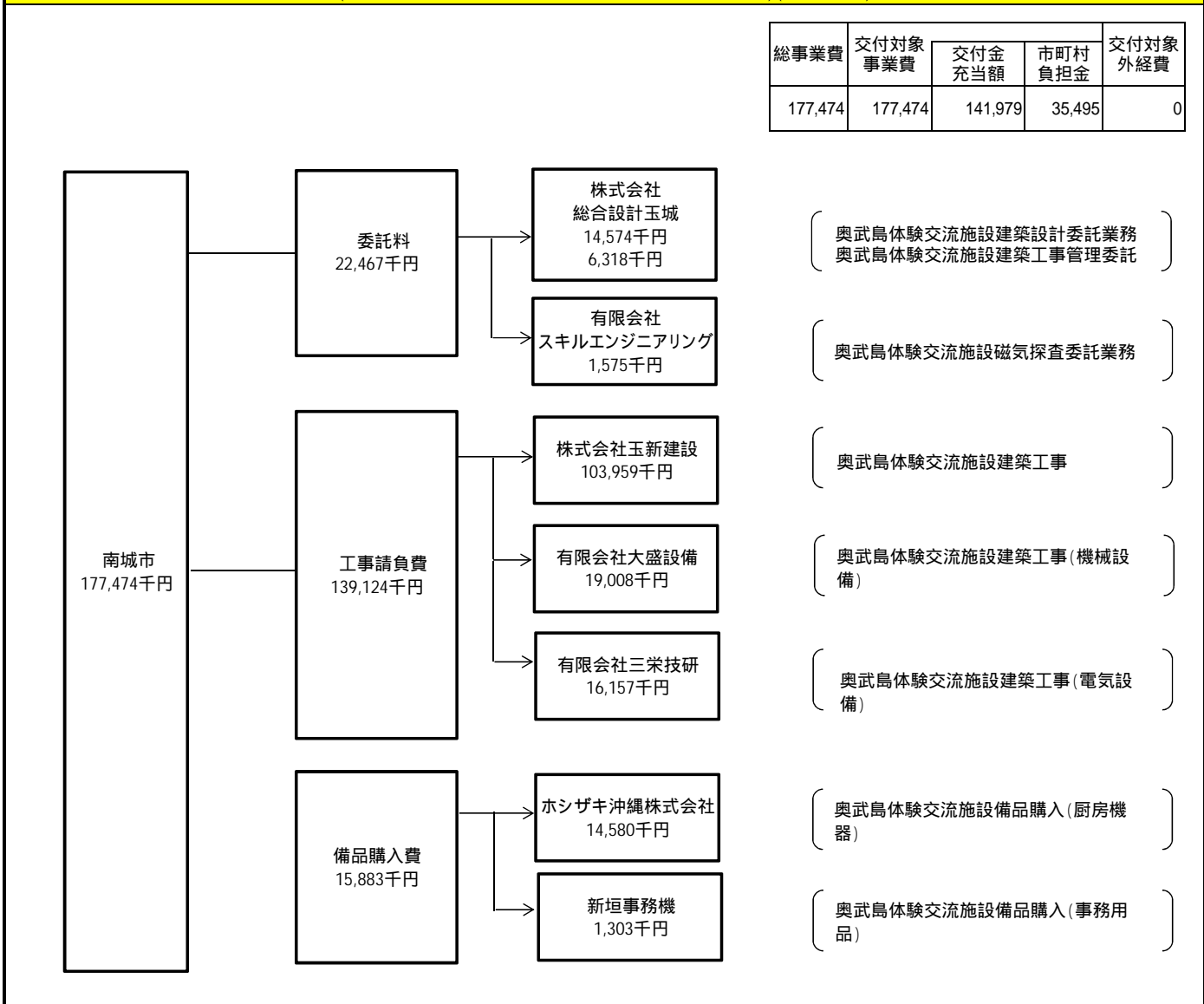
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		目標	()	(1棟)	()	()
	実績		1棟			
	目標	()	()	()	()	()
実績						
進捗状況説明	H26年9月に施設が完成、備品も11月には完備され、11月末より供用が開始された。現在、観光交流や地域農水産物の供給拠点となり、対内的には地産地消、対外的には観光客の誘客及び地域農水産物のPRといった効果を得、島の活性化につながっている。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	奥武島は、年間10万人余の多くの観光客が訪れる地である。当施設を整備し、ハーリー体験やもずく網体験等、島の豊かな自然を活かした体験プログラム等を実施することで、島の魅力を発信し、更なる観光客等の誘客促進及び島の活性化を図る必要があるため、当施設の整備を行った。 整備にあたっては、実施設計に伴うボーリング調査の結果、基礎杭工の追加が生じ設計変更に時間を要した。そのために工事発注が遅れ、H25年度中の完成が困難となり、H26年度に繰り越した。 平成26年度に入ってから、設計変更に伴う工事の追加(屋根耐風補強、市景観条例に配慮した室外機目隠し、防犯用シャッター及びカメラ、外構工事、他)により、工事完了が遅れた。 また、備品購入設計にあたり、入居を想定している団体から機器の仕様に関する要望があり、その調整に不測の日数を要した。さらに、特注品となったため納期に日数を要し、完了が遅れた。	繰越事由となった、基礎杭工による設計変更による工事の遅れについては、今後同様の工事がある場合には地質調査を早期着手する等改善したい。 工事の追加による遅れについては、当初設計段階での事業関係者との緊密な連携及び余裕を持った工期設定を行う。 備品購入設計にあたっては、入居を想定している団体との協議の頻度を増やすなど、緊密化を図ることにより改善したい。

今後の取り組み方針

入居団体との連携を密にし、安心・安全な地域農水産物の供給の安定化を図る。また、地域や漁業組合、観光協会が連携しハーリー体験やうみんちゅ体験を行い、加えて、島の特産品を活かしたイベントや祭りなど定期的な集客イベントを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は全て指名競争入札に付したため、妥当なものであったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については100%の執行率であり、適正なものだったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について、事業途中や事業完了時の受託者との協議を密にした。額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であることを確認した。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 第二次コミュニティFM放送施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	企画部 まちづくり推進課		事業実施(予定)年度	平成24~25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
						-1-(1)	
事業内容		南城市では、平成24年度に総合防災情報を補完するとともに観光客等へ防災情報等を伝達するため、コミュニティFM放送の施設整備を行ったが、一部地域で電波の不感地域があることから、これを解消するため、市内全域の電波調査及び解消工事を実施する。					
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
		(a)当初予算額	30,722	21,576	-		
	(b)予算現額	30,722	21,940	-			
	(c)増減額(b-a)	0	364	-			
	(d)繰越額	-	-	20,300			
	A.計(b+d)	30,722	21,940	20,300			
	B.執行済額	30,722	1,640	19,980			
	うち交付金充当額	24,577	1,312	15,984			
	次年度繰越額	0	20,300	-			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	7.5%	98.4%			
予算の状況の説明		総合通信事務所より「火災通報装置の追加整備」をするよう改善指導があったため、364千円の流用をおこなった。 ・中継局設置場所の選定や、免許申請に伴う運営事業者及び総合通信事務所との調整に不測の日数を要したため、H26年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	・電波不感地域の調査及び解消工事の実施	目標	(電波調査、不感地域解消工事の実施)	()	()	()	()
		実績	・電波調査、不感地域解消工事の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
	達成状況説明	平成25年度に難聴地域の調査を実施し、平成26年度に不感地域解消のために、3カ所の追加中継局を整備した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	市内電波受信可能エリア 95%	目標	()	市内電波受信エリア 95%	()	()	()
		実績		市内電波受信エリア 95%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成24年度に総合防災情報を補完するとともに観光客等へ防災情報等を伝達するため、コミュニティFM放送の施設整備を行ったが、一部地域で電波の不感地域があることから、これを解消するため、二次整備事業として市内全域の電波不感地域の調査及び解消工事を実施した。 ・その二次整備事業により、市内の受信可能エリアが約88%から約95%の地域へ広がった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・南城市特有の起伏の激しい地形が影響し、一部地域で電波の不感地帯がある。そのためコミュニティ放送による地域の観光情報、イベント情報、行政情報、災害情報等の市内全域放送ができない状況であり、その解消の整備事業を行った。	・混信を避ける為に、運営事業者や総合通信事務所と幾度となく調整を重ね、電波の強さ、方向、アンテナの種類を変更することで問題の解消を図った。
	・混信を避けるための送信所の設置場所決定に時間を要した事と、運営事業者との管理運営に関する調整や総合通信事務所との調整に予想以上の時間を要したため、H26年度まで繰越して事業を実施した。	
	・南城市は起伏の激しい地域であることから、今回の3か所の追加中継局では全てのエリアをカバーすることが難しい。	

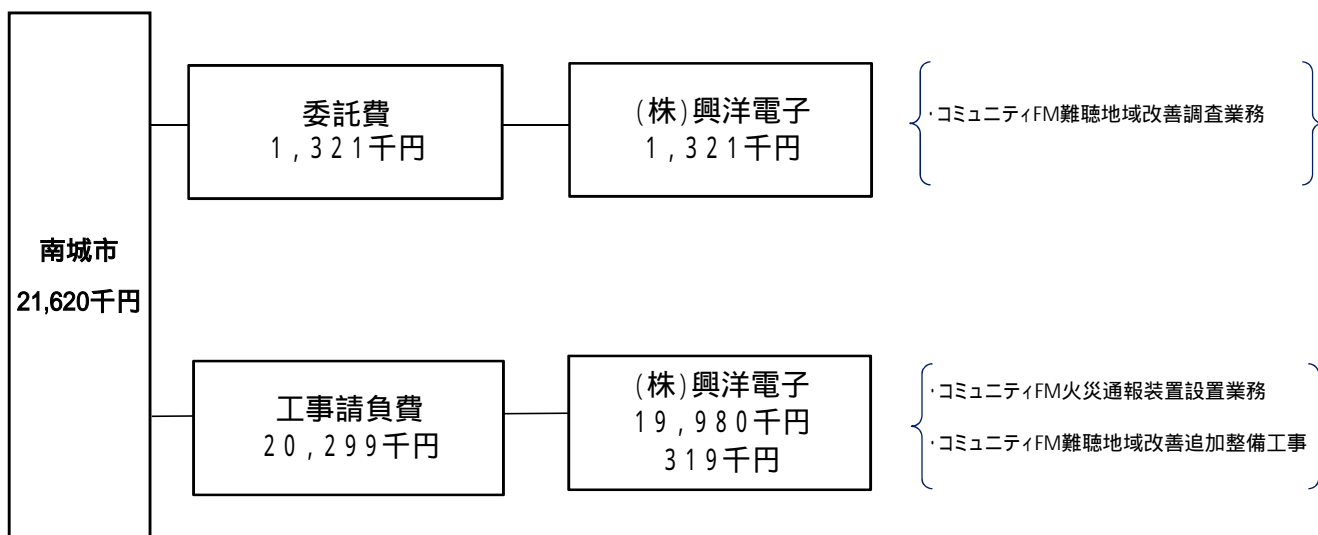
今後の取り組み方針

- ・南城市内の放送受信可能エリアが約95%のため、より多くの受信可能エリア拡大に向けての方法の検討。
- ・久高送信所の送信電力増の検討。
- ・新開送信所のアンテナ指向変更の検討。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
21,620	21,620	17,296	4,324	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	請負業者の選定は指定競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。また、火災通報装置設置業務については、総合通信事務所より早急な改善を求められたため、地方自治法施行令第167条の2第11項第5号に基づき、3社見積により随意契約をおこなった。 予算規模については不用額が320千円であり、適正な規模であったと考えている。 費目・使途については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		南城市						
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1 - 観光振興将来拠点地整備事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ			
	担当部課名	企画部 政策調整課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度		25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	125,000	-				
	(b)予算現額	125,000	-					
	(c)増減額(b-a)	0	-					
	(d)繰越額	-		114,020				
	A.計(b+d)	125,000		114,020				
	B.執行済額	10,980		108,891				
	うち交付金充当額	8,784		86,216				
	次年度繰越額	114,020		-				
	執行率(%) (B/A)	8.8%		95.5%				
予算の状況の説明	用地交渉業務及び基本設計業務(夏季環境調査の追加と関係機関協議)に不測の日数を要しH26年度に繰り越した。委託業務2件の入札残額、用地取得予定地の交渉不調による未取得用地があり、5,129千円の不用額が発生した。							
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
	基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 用地取得の実施	目標	()	()	()	()		
		実績	・基本設計業務等 ・用地取得業務					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
	達成状況説明	平成25年度に基本設計委託業務(測量調査、地質調査、環境調査)、事業認定申請資料作成委託業務を実施。土地取得業務については、鑑定評価委託業務を実施し、用地交渉業務を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 用地取得(15,000㎡)の実施	目標	()	()	・委託3件 ・土地取得	()	()	()
		実績			・委託3件 ・土地取得			
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	委託業務は、基本設計委託業務、事業認定申請書作成委託業務、不動産鑑定委託業務を実施し、委託業務3件を完了した。用地取得業務は、全体計画6haのうち取得目標を15,000㎡に設定し実施。取得する土地によって、費用(単価・面積)が変動するため、実績取得面積は11,148㎡となった。						

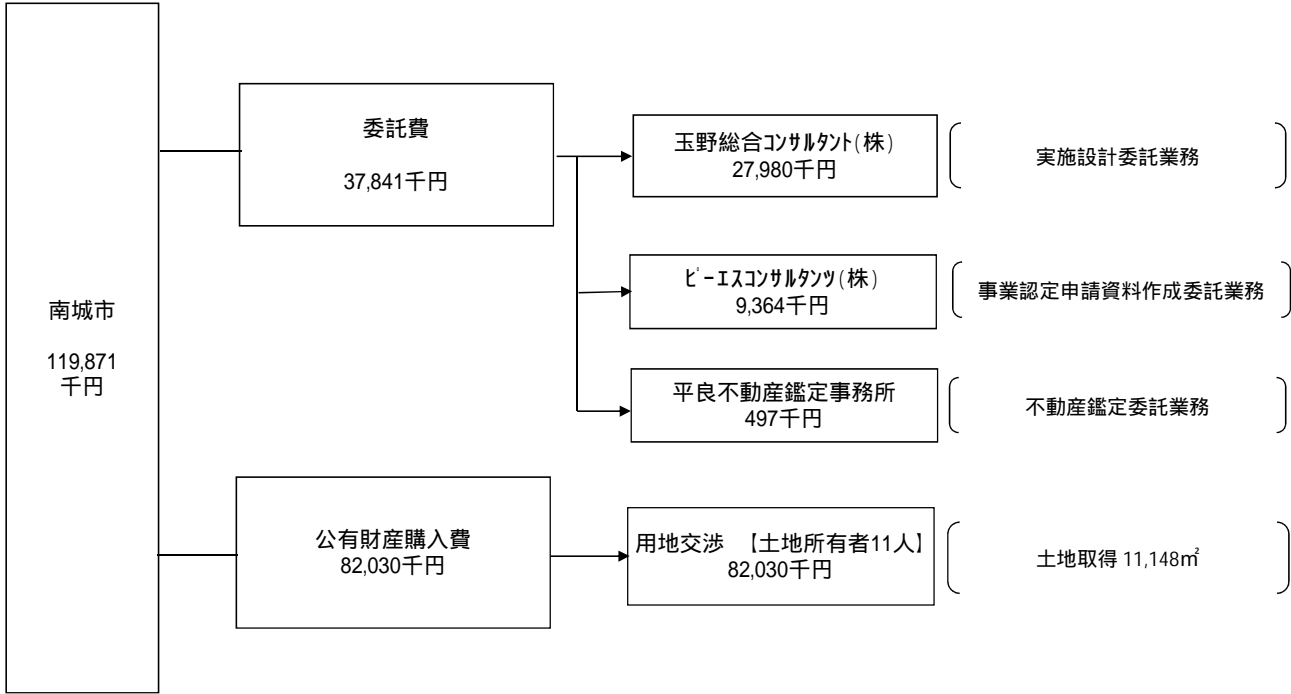
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまで、本市のイベント等では、駐車場の拠点として大規模な土地を民間借用で対応してきたが、近年、民間開発により使用できない状況となった。尚巴志ハーフマラソン等の大規模イベントを多数展開している本市では、イベント等の駐車場の確保、開催拠点等の確保が喫緊の課題となり、当事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計業務の関係機関(開発行為・緑地率・森林率など)協議に時間を要し、計画区域決定に予想以上の時間を要した。また、夏季環境調査の追加業務も発生した。 用地交渉業務において、用地単価、所有者死亡による相続等が発生し交渉が難航するケースがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計業務の中で、関係機関との事前調整等(課題整理)を行っているため、実施設計業務の効率化が図られる。 用地交渉職員体制の見直し(効率化・早期取得) 事業実施体制の見直しを行い、用地取得、施設整備に係る専門部署を設置した。

今後の取り組み方針

専門部署で対応するため、用地取得の効率化、整備事業のスムーズな実施が図られる。
 平成27年度内で用地取得完了を目標とし、平成28年度から公共駐車場整備の整備を行う。
 実施設計業務の中で、バランスの取れた駐車場の配置等、使い勝手のいい公共駐車場となるよう調整を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
119,871	119,871	95,000	24,871	



資金の流れ、費目、用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 委託業務については入札残額等の不用額であり、適正な規模であったと考えている。用地取得についても、鑑定評価に基づき適正な価格で取得しており、妥当であったと考える。 費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、検査、確認しており、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4 - 蔬菜花卉園芸施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ
担当部課名	農林水産部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (6)

事業内容	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。
------	--

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	8,359	-	30,000	-	
	(b)予算現額	8,359	-	30,000	-	
	(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
	(d)繰越額	-	8,359	-	18,732	
	A.計(b+d)	8,359	8,359	30,000	18,732	
	B.執行済額	0	8,359	11,268	17,156	
	うち交付金充当額	0	6,687	9,014	13,725	
	次年度繰越額	8,359	-	18,732	-	
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	37.6%	91.6%	
	予算の状況の説明	補助対象農家の施設内に収穫を控えた農作物があり、施工に取り掛かることが出来ず18,732千円を次年度に繰り越したが、繰越後に農家2件から中止申請があったため1,576千円の不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
既存ハウス等施設の整備	目標	(24カ所)	(20ヶ所)	()	()
	実績	6ヶ所	27ヶ所		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	既存施設への補強資材追加による施設強化6件、施設周辺への防風壁設置21件を実施。施設強化より費用のかからない防風壁の設置希望者が多かったため、活動目標を上回る27ヶ所を整備。強風等の自然災害から施設を守るとともに、施設内の作物被害を軽減することが出来た。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		既存ハウス等施設の整備:20ヶ所	目標	()	(24カ所)	(20ヶ所)	()
	実績			6ヶ所	27ヶ所		
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	既存施設への補強資材追加による施設強化6件、施設周辺への防風壁設置21件の整備を完了。強風等の自然災害から施設を守るとともに、施設内の作物被害を軽減することが出来た。他の農家からの評判もよいため、次年度も同様に事業をすすめる。						

市町村名	南城市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6 - 太陽光採光システム普及事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ
担当部課名	企画部 観光工商課	事業実施(予定)年度	平成24~25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進 -10-(1)

事業内容 環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを企業及び一般家庭等へ導入する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	55,000	-	34,000	-	
	(b)予算現額	55,000	-	34,000	-	
	(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
	(d)繰越額	-	55,000	-	34,000	
	A.計(b+d)	55,000	55,000	34,000	34,000	
	B.執行済額	0	55,000	0	32,869	
	うち交付金充当額	0	44,000	0	26,295	
	次年度繰越額	55,000	0	34,000	0	
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	0.0%	96.7%	
	予算の状況の説明	企業・一般施設への設置に対し、建築(新築)施工期日の遅れ、他設備(太陽光発電設備)工事との調整が発生し、施工時期に不測の日数を要したため、次年度に繰越を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
太陽光採光システムの設置台数 100台 電気使用量削減量 4,200kw	目標	企業・一般 設置台数 120台 2,477kw(1台当たり) 公共施設 設置台数 50台 4,800kw(1台当たり)	設置台数 100台 4,200kw(1台当たり)	()	()
	実績	企業・一般 設置台数 25台 616kw(1台当たり) 公共施設 設置台数 55台 4,380kw(1台当たり)	設置台数 48台 624kw(1台当たり)		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	南城市内公共施設(公民館)、一般企業、個人(トップライト設置箇所)へ営業展開し設置に努めた。目標値との差異については、既設建物の設置が主となったため、1件当たりの工事費が高み本実績となった。電気使用削減量については、400W水銀灯クラスを想定に目標としたが、一般照明器具施設への設置となったため1台当たりの消費電力は低く実績のとおりとなった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			目標	企業・一般 設置台数 120台 2,477kw(1台当たり) 公共施設 設置台数 50台 4,800kw(1台当たり)	設置台数 100台 4,200kw(1台当たり)	()
実績	企業・一般 設置台数 25台 616kw(1台当たり) 公共施設 設置台数 55台 4,380kw(1台当たり)	設置台数 48台 624kw(1台当たり)				
進捗状況説明	今回、価格面、現状への不満がないこと等の意見が多く、また既設建物への設置をすることによる工事費が高んでしまったことにより想定していた目標値には至らなかった。なお、設置箇所を不特定多数が利用する公民館施設への設置を積極的に行ったことから、明るさ、CO2等、日中の電気を消すことにより、削減効果が体感できることで、今後の普及が見込める。					

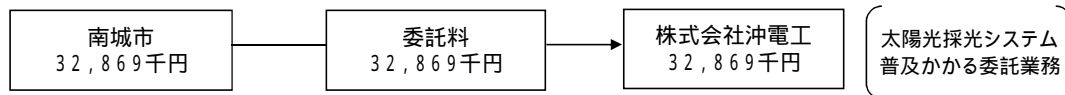
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>災害停電時への対策、電気使用量削減によるCO2削減効果、新産業の創出を図ることを目的として事業を実施している。しかしながら、本市においては、都市部の建物密集地と違い建物立地環境が良く、日中の採光に優れているなどの意見が多くあることから現状への不満等がなく、想定した普及率には至らなかった。また、建物構造がRC造がほとんどであるため、施工法等対策を講じたが、建物を開口することに、抵抗感が大きく価格面等で理解が得られなかった。</p>	<p>既設建物への設置はコスト面から需要がほぼない状況にあることから、新設する予定の企業、個人を特定し設置してもらえるよう取組が必要となる。具体的には、南城市内外設計事務所、工務店等への営業展開を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

南城市内外設計事務所や工務店等を中心とした営業展開と並行し、公民館施設への導入から、本事業(製品)の認知度が向上することで、市全体普及できると考える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
32,869	32,869	26,295	6,574	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託については、随意契約であるが委託業者は、公募型プロポーザル方式により、提案内容、企業組織、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		